

## ■パネル展示

### 1. 愛知製鋼(株)

RC 構造物の高耐久化に貢献するステンレス鉄筋コンクリートバー「サスコン」の紹介。

### 2. エスビック(株)

大臣認定擁壁「RECOM システム」と土木系材料技術審査証明「AB 補強土壁」の紹介。

### 3. 花王(株)

社会資本・建築物の安心・安全性に貢献する建設用薬剤の紹介。

### 4. 共和コンクリート工業(株)

「暮らしをまもる」緩傾斜堤、直立堤の工期短縮に対応したプレキャストコンクリートブロックの紹介。

### 5. 光洋機械産業(株)

つねに安定した品質のよい生コンクリート生産を考えた、最新の設備とシステムを提案。

### 6. ジャパンライフ(株)

人と技術に磨きをかけ、時代のニーズに応えるために開発した新技術・商品の紹介。

### 7. 新貝工業(株)

ユーザーのニーズに応えるコンクリート2次製品型枠製造及び製品電動無線反転機の紹介。

### 8. 住友大阪セメント(株)

汚染土壌対策工事に化学的・物理的吸着のW効果を有する「不溶化材マジカルフィックス」の紹介。

### 9. 全国ゴールコン協会

宅造法大臣認可、土木技術審査証明を取得した大地震対応・垂直積ブロック擁壁「ゴールコン」の紹介。

### 10. 全国ボックスウォール協会

道路施工「擁壁工指針」対応の大型積ブロック擁壁で現地発生土も利用可能な「大型積ブロック」の紹介。

### 11. (株)ダイクレ

「普通目の軽さ+細めの歩行性」という相反する条件を満たした「エコ細目グレーチング」の紹介。

### 12. 太平洋セメント(株)

放射性汚染物保管用コンクリート容器「TAIHEIYO CUBE」とRFID 腐食環境検知システム「WIMO」の紹介。

### 13. 太平洋マテリアル(株)

乾燥収縮、温度応力の低減によるコンクリートのひび割れ対策のご提案。

### 14. (株)日栄商事

コンクリート二次製品の未来を御手伝いするプラスチックスペーサの紹介。

### 15. (株)NIIPPO

低騒音型床版上面増厚工法「スマートオーバーレイ工法」の紹介。

### 16. 日本シーカ(株)

お客様のベストパートナーとして提供する建築・土木用化学製品のトータルソリューションの紹介。

### 17. ハレーサルト工業会

高炉スラグを用いて耐塩害性、耐凍害性、耐硫酸性を向上した緻密コンクリート「ハレーサルト」の紹介。

### 18. BASFジャパン(株)

復旧・復興のサポートを目指して提供する革新的なソリューションの紹介。

### 19. 富国石油(株)

3次元のイメージを手のひらに。「お客様の想像を創造する」剥離剤およびスペーサー等の紹介。

### 20. (株)フローリック

未来をカタチに変える創造力-フリーディング抑制タイプのAE減水剤「フローリック」B」の紹介。

### 21. ホクセイ(株)

日本で最初に『ステンレスグレーチング』を製造・販売した総合建設資材のパイオニアの製品を紹介。

### 22. (株)北斗型枠製作所

さらなる多様化・高度化を実現したコンクリート2次製品専用鋼製型枠の開発と製造技術の紹介。

### 23. 前田工織(株)

繊維の技術を中心としたインフラの補修・補強、災害の復旧・復興に貢献する建設資材の紹介。

### 24. (株)ユニソン

高保水舗装材・植生緑化舗装材・ユニバーサル舗装材のご提案。

### 25. MLウォール研究会

大規模地震動に対応するL型擁壁で早期震災復興に大きく貢献する「MLウォールIV型」の紹介。

### 26. (株)ケーエムエフ

プレキャスト化により建設工事の工業化(コンクリート製品の工場生産化)を推進する鋼製型枠の紹介。

### 27. インフラテック(株)

インフラパーツの創造を通して、人類・社会に夢を提供し続けるコンクリート二次製品の紹介。

### 28. (株)武井工業所

環境とコンクリートの未来を創造するコンクリート二次製品の紹介

### 29. (株)タイガーマシン製作所

常に最新の技術を取り入れた開発したコンクリート二次製品製造用革新的機械設備の紹介

### 30. (株)未来樹脂

再生プラスチックを通じて新たな価値を作り出したコンクリート二次製品用プラスチック商品の紹介。

# 第3回 コンクリート技術大会(郡山)

～東日本大震災の復旧・復興に貢献するコンクリート技術～

平成25年10月31日(木)～11月1日(金)

会場：ホテルハマツ

主催：日本大学工学部

日本コンクリート技術株式会社

JPCF 経営者情報交換会

協賛：(公社)プレストレストコンクリート

工学会、(公社)日本コンクリート工

学会東北支部、(公社)日本コンクリ

ート工学会四国支部、(一社)新潟県

コンクリートメンテナンス研究会、

新潟県CEG研究会、ふくしまイン

フラ長寿命研究会、新世代PCA工

業会、(株)セメント新聞社

大会参加費：5,000円(CD-ROM 論文集、  
参加証含む)

## 会場への交通アクセス

◎JR郡山駅西口より車で約5分(徒歩約20分)

◎東北自動車道郡山I.C.より車で約15分

◎東北自動車道郡山南I.C.より車で約20分

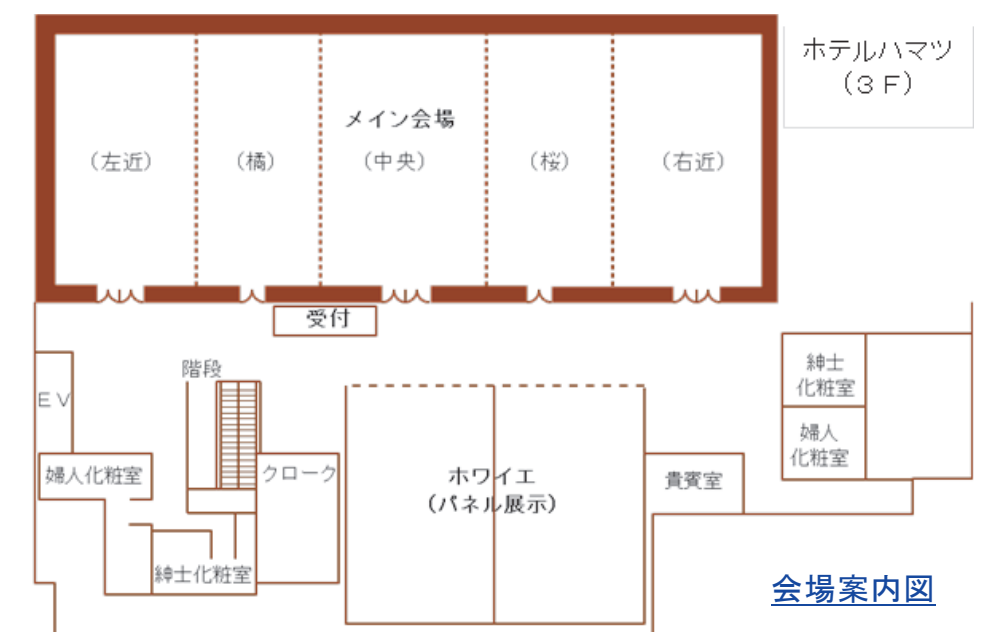
◎福島空港より車で約50分

## ホテルハマツ

〒963-8578

福島県郡山市虎丸町3番18号

TEL. 024-935-1111(代)



# ご挨拶～コンクリート技術大会へのお誘い

大会委員長 長瀧 重義 (東京工業大学名誉教授)

2011年3月11日に発生した東日本大震災は岩手・宮城・福島等の東北3県を中心に未曾有の被害をもたらしました。特に福島県は、福島原子力第一発電所の事故による放射能汚染という人類史上最悪の被害を受け、風評被害も加わり厳しい状況が続いておりました。

コンクリート技術大会は、震災から約半年後の10月に福島県会津若松市において「東日本大震災の復興・復興に貢献するコンクリート技術」をキャッチコピーに緊急開催いたしました。全国から延べ600名のコンクリート技術者が参加し、技術者同士の絆を確認するとともに、被災地貢献への足跡を残すことができました。昨年は仙台にて第2回大会を開催し、放射能関連論文が10編を数え、コンクリートに期待される新たな技術や震災復興へ貢献するコンクリート技術の報告がなされました。

第3回コンクリート技術大会は、世界から注目されている福島の復興への一助として、本年10月31日(木)～11月1日(金)に開催いたします。技術講演会は33件の論文・報告の発表が予定され、震災に復興・復興へ向けた交流の場になることが期待されます。また、基調講演は教育、環境、復興の観点から高度かつ実務的な情報発信、特別講演は本年話題の大河ドラマ「八重の桜」に関連した興味深い講演がなされます。さらに、パネルディスカッションでは、「復興コンクリートの長寿命化を目指して」を課題として最新の情報提供と意見交換がなされます。そして、見学会は「会津土木遺産の視察」、「放射能汚染区域を含めた被災地視察」の2つのコースを計画しています。

郡山大会は上記のような内容で開催いたします。本大会は、コンクリート技術に関する情報収集および発信、ならびに実務者の交流の場として良い機会になることと思います。奮ってご参加くださいますようご案内申し上げます。

## 大会スケジュールおよび行事開催場所

場 所		3 F 平安					2 F	3 F	
		左近	橋	中央	桜	右近			
日 嶋								チェルシー メイフェア	ホワイエ
	10/31 (木)	10:00～12:00	基調講演						パネル 展示
12:00～13:30		昼食・休憩					JPCF2013 「経営者 情報交流会」		
13:30～16:40		講演Ⅰ 【放射能とセメント系材料の関連】	講演Ⅲ 【減災・防災・維持管理、合理化施工】	講演Ⅱ 【復興コンクリートの実用化技術】					
17:00～18:00		特別講演会							
18:30～20:30		懇親会							
11/1 (金)	9:30～12:00	復興コンクリート パネルディスカッション						パネル 展示	
	12:00～	見学会 ホテルハマツ出発 (A・Bコース)							

## 主要行事

■技術講演会：10月31日(木) 13:30～16:40 論文・報告 33編 (論文は添付資料参照)

講演Ⅰ：放射能とセメント系材料との関連、対策技術(11編)。

講演Ⅱ：復興コンクリートの実用化技術(11編)。

講演Ⅲ：減災・防災、維持管理、施工の合理化技術(11編)。

■基調講演：10月31日(木) 10:00～12:00 平安 [左近・橋・中央 定員 800名]

(1)「ロハスの工学を目指して」 講演者：日本大学工学部 学部長 出村克宣

“心と身体、地球にやさしい生き方”を持続させることが、ロハス(LOHAS)の基本となる考え方。“工学”というフィルターを通して、“心と身体、地球にやさしい生き方”の探求等について解説する。

(2)「環境研究からのコンクリート技術への期待～放射性汚染廃棄物問題との関連～」

講演者：国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター センター長 大迫政浩

早期の環境回復を実現するには、放射性物質に汚染された廃棄物の除染や安全な処理処分技術の確立が急務である。本問題への対処においてはコンクリート分野との関連も深く、現状技術等について報告をする。

(3)「県土復興に向けた福島県土木部の取り組み」 講演者：福島県土木部 土木企画課長 杉 明彦

東日本大震災、新潟福島豪雨、台風15号で甚大な被害が発生した。震災により3千名もの尊い命が失われたほか、10万人を超える避難が強いられている。県内の被害状況と、県土復興へ向けた取り組みを紹介する。

■特別講演会 (入場無料・一般入場可)：10月31日(木) 17:00～18:00 [左近・橋・中央、定員 800名]

講演者：野口信一(会津史編纂・研究家、元会津若松市立会津図書館館長)

演題：「ハンサムウーマン新島八重と会津精神」 藩祖保科正之『会津家訓十五箇条』、第一条に「会津藩たるは・・・」。什の掟一(ならぬことはならぬものです)の会津藩教育等を踏まえた会津精神と、NHK大河ドラマの主人公「新島八重」等を解説する。

■パネルディスカッション「復興インフラの長寿命化を目指して」

日時・会場：11月1日(金) 9:30～12:00、ホテルハマツ 平安 [左近・橋・中央、定員：800名]

登壇者：岩城一郎(コーディネーター：日本大学)、石田哲也(東京大学)、細田暁(横浜国立大学)、佐藤和徳(国土交通省東北地方整備局)、二宮純(山口県)、田中直樹(NEXCO 東日本東北支社)、久田真(東北大学)、丸屋剛(大成建設)、新田裕之(東栄コンクリート工業)、野中賢(日経コンストラクション)

内 容：東日本大震災からの復興は、高度経済成長期よりも迅速に、阪神淡路大震災よりも広域に進める必要がある。また、インフラの老朽化が顕在化し、ひと・もの・かねの不足する中、厳しい環境下にある東北地方においては復興インフラの長寿命化を果たす必要がある。本パネルディスカッションでは、コンクリート技術の粋を結集して、このような困難な課題を打破するための方策について議論する。

■JPCF2013「経営者情報交流会」 10月31日(木) 12:30～16:30 [2階チェルシー・メイフェア]

テーマ：「P C a業界、ここだけの話をしよう」

特別講演：「成熟化社会におけるコンクリートの役割」 岡山大学名誉教授 阪田憲次 (元土木学会会長) フリートーク形式で業界の課題や方向性についての意見交換を実施。

■パネル展示(入場無料・一般入場可) 10月31日(木) 10:00～18:00、11月1日(金) 9:30～12:00

会場：3階「ホワイエ」 ※メイン会場向かい 内容：参加各社による展示：技術紹介セッション

■見学会：11月1日(金) 12:00 ハマツ発。参加費用はA,Bコース、6,000円(バス代・昼食代を含む)。

Aコース：会津地方土木遺産等視察 土木遺産に認定された日本最古の水門である「十六橋水門」および大正時代に築造された「東京電力猪苗代第一、猪苗代第二発電所」等。定員：80名程度

Bコース：浜通り被災地視察 原子力発電所事故により放射能被災を受け、住民の避難が続いている原発20km圏内地域の被災状況および常磐自動車道路建設現場等。定員：60名(締切り)

■懇親会

日時・会場：10月31日(木) 18:15～20:00、ホテルハマツ 3階 平安 [中央・桜・右近]

参加費：7000円 (事前申込、または当日参加可)